**北大生協2022年度 第2回定例理事会　発言録**

1　日時　2022年６月20日（月）　18:15～20:08

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

井崎貴皓理事（北海道大学内、研究室）

小川美香子理事（北海道大学内、研究室）

コリー紀代理事（自宅、札幌市白石区）

伊藤美香理事（自宅、札幌市東区）

今村 央理事（自宅、北海道函館市）

逸見京花理事（自宅、北海道小樽市）

3　出席役員

理事総数　　21名中19名出席

（出席理事）坂爪浩史理事長、小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、井崎貴皓常務理事、小松慎太郎常務理事、田代直也常務理事、原拓也常務理事、金川眞行理事、伊藤美香理事、今村央理事、

小篠隆生理事、小川美香子理事、コリー紀代理事、髙木暉馬理事、三澤建成理事、石本万象理事、野呂香綸理事、逸見京花理事、羽木康祐理事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）林忠一常務理事、奥山莉子理事

監事総数　　5名中5名出席

（出席監事）芳賀永監事会議長、岡野泰樹監事、浦田翔吾監事、黒川昇悟監事、寺西ほの花監事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）なし

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤店舗事業部部長、

神田マネージャー、百石マネージャー、古屋（全国大学生協連北海道ブロック事務局長）

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　小松常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時15分に理事会規則の規定により、議長に小松常務理事を選任した。小松常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

**●討議事項「３カ年再生計画策定委員会」中間のまとめについて**

（井崎）P9中間のまとめのところで、例えば「教職員の加入率23.5％を50％にする」など、現状の数字と目標の数字を書いてあるのはわかり易いと思います。パソコンや共済加入率なども現状の数値を書いてはどうかと思います。

（小助川）今後、具体的課題を深堀する際に、現状の数字も書き加えていきたいと思います。

（髙木）この計画は、今後、どのタイミングで見直しなどを行っていくのでしょうか。

（小助川）１年１年の到達度を確認して進めますので、新学期事業など具体的な課題を執行するにあたって一部修正はあるかもしれません。

（髙木）組織委員会が、この計画の中でどのように関わっていくのか、役割などについて策定委員会では議論されているのでしょうか？

（小助川）組合員ミーティングをどのように開催するのかは、今後の検討になります。総代さんに集まってもらってどのように議論するのか、策定委員会で議論して提起できるようにしていきたいと思っています。

（金川）策定委員会のメンバーとして発言しますが、目標は変えてはだめですね。具体的な課題、実行計画については、毎年度見直すことはあると思います。最終的に理事会で確認していただいた後は、目標は変わらないということだと思います。

（石本）基本方針１のところで、学部店の役割について書かれています。第2回の発言録を読むと、議論の中で学部店の再評価をするという話しになっていたようです。もう少し具体的な議論についてお聞かせください。また、今の時点で、学部店についてどのような見通しをもっているのかお聞かせください。

（小助川）コロナ禍直下の時は、急激に経営状況が冷え込んだので、対策として赤字店舗の閉鎖に傾きました。策定委員会の中では、北大特有の広大なキャンパスの中で、学部店の必要性などについて事務方や組合員と共有することで活性化できないかという議論になっています。ここまでやってもだめなら撤退ということも考えられますが、その際は基準を持って判断できるようにしたいということです。

（坂爪）撤退ありきで議論しているわけではないです。基本方針１にある「組合員とつながりを強める」そのツールが学部店であると思うので、そういう位置づけで議論しています。学部ごとのアンケートを取れば意見交換したいという回答が多かったり、アンケート自体の回答率も高かったりしている事象もあります。そういった意味で、エリアに分けて縦（教職員、学生、院生）で一緒にミーティングを行ってコミュニティーを高めることも生協の基本ではないかと思います。そのときに、学部店は重要なツールであり、これからもポテンシャルは大きいのではないかと思っています。

（コリー）基本的な質問かもしれませんが、全国大学生協連に対して経営支援金を申請するために、３か年計画をたてるという理解でいます。その申請の際に、満たさなければならない条件はあるのでしょうか？たとえば、到達目標を数字で表されるとかあるのか。また、今後3カ年の経営支援金を申請する際の計画と、長期の全体的な目標は同一の目標と考えていいのでしょうか。

（小助川）経営支援を受けるには、理事会がどのような姿勢で赤字解消に取り組むのか、真剣に取り組んでいる姿勢が問われるということです。前提としては、黒字の経営構造にすることが最終目標になります。そのために、再建計画を作りあげることだという事です。

（コリー）赤字額から言うと、必ずしも支援金が大きな額とも言えないので、どれほどの効果があるのかということで質問しました。

（嶋崎）単年度黒字が目標ですね。

（小助川）そうです。

**●議決事項　第1号議案**

（金川）工学部食堂の供給高が低いのは、他の学部より対面講義の割合が低いということがあるのでしょうか？

（齋藤）営業時間が短いままということもあります。購買では回復率は他店と比べて低くはないので、学内人口がすくないわけではないと考えています。食堂の営業時間を夕方まで延長することが、目下の課題となっています。10月までには体制強化をして対応したいと考えています。

（坂爪）農学部食堂は、事業剰余が低い理由を教えてください。今わからなければ、後ほど教えてください。また、営業報告の図に、店舗ごとの事業剰余まで記載があるのはわかり易いので継続して下さい。

（井崎）サラダバーやバイキングの復活は検討されていますか？

（齋藤）検討はしていません。人員体制の関係で、サラダバーの使われ方を監視することができないことが理由です。

（石本）文系スモールショップの数値が明らかに低いようですが、その状況を教えてください。

（齋藤）文系の講義がハイブリッド形式中心だと聞いていますので、営業時間というよりは、学内人口がかなり少ないということです。

**●議決事項　第５号議案**

（金川）北部厚生施設について、令和6年度の施設概算でアスベスト撤去工事が申請されていると思います。撤去要請など影響があるのではないかと思うので施設部と調整されてはどうかと思います。

（小助川）２～３年後に予算申請されることは承知しているのですが、長年、職員に我慢を強いている状況でもあるので、移動要請があっても良いという含みで判断をしたという事です。

（齋藤）施設部と調整しながら進めます。

**●報告事項　第2号議案**

（金川）出資金動態表に、前月の出資金総額の表記を書いておいて下さい。

（鏡）次月から書き加えます。

**●報告事項　第３号議案**

（坂爪）包括連携協定について、業務委託契約書を確認する場にすることが大切だと思っています。

（金川）理事会で確認なしに、契約書の内容を変える話を先にするのは、手続き的に瑕疵があるのではないかと思います。お互いに、契約書を使っていないことが問題ではないかと思います。スタートラインに立ち戻って、お互いに契約書を尊重しましょうということではないかと思います。

（小助川）今頂いた意見を踏まえて面談を行っていきます。

（鏡）イメージとしては、業務契約書をいじるというよりは、包括連携協定で覆うということで考えていました。理事会で確認されていることを超えて、面談で話すことはないようにしていきます。また、事務方と各業務について協議をする際に、先方から契約書を提示されることも多いですので、全く疎かにされていることということでもないことを補足させていただきます。

（金川）75周年記念事業に関してですが、3カ年計画との関係で何か取り組めないかと考えました。例えば、生協加入を促進する企画を考えても良いのではないでしょうか。今の加入率を知らせて加入を促すこともできるのではないか。

（齋藤）加入促進ができるようなポスターを作成できればと思います。

（坂爪）加入率が何パーセントになると●●になります、のようなキャンペーンでも良いのではないかと思いました。

（鏡）今秋、組合員加入促進のキャンペーンを考えていきたいと思います。

**●その他**

（金川）定期購読の件ですが、今は、事務所（勤務場所）までは届けてくれないのでしょうか？

（百石）外売店でご注文いただいたものは、お届けしています。今回の改定は、店舗での定期購読についてのご提案でした。

（嶋崎）書籍外売店での口座引き落としについては、たくさんご利用いただいています。

（金川）デジタルサイネージですが、玄関とかにあるといいのではないかと思いました。

（小助川）今回の先端生命科学研究フロアーの取り組みが、他の学部に広まれればと思っています。